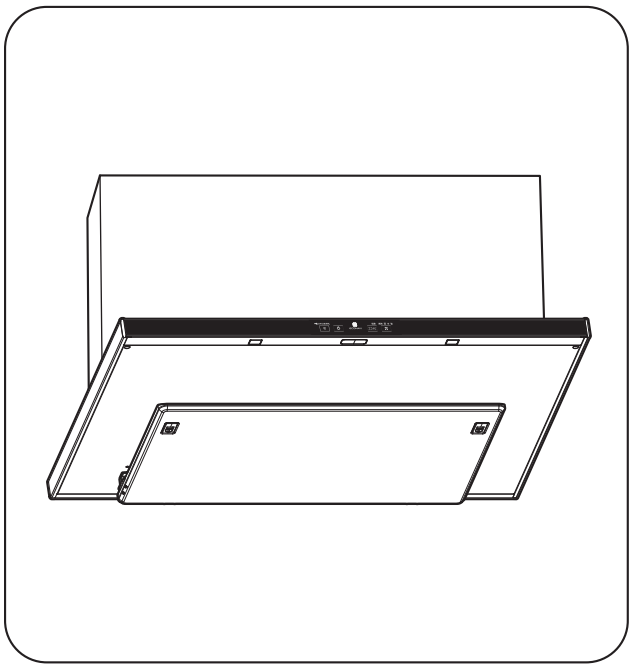
Panasonic

取扱説明書

レンジフード

シロッコファンタイプ



本書のイラストはS17BHWZ3MLを示します。
使いかた、お手入れのしかたは他の品番も同様です。

品番

S17BHWZ2ML 750幅
S17BHWZ2MR 750幅
S17BHWZ3ML 900幅
S17BHWZ3MR 900幅

（マルチ・トリプルワイド専用）

S09BHWZ3ML 900幅
S09BHWZ3MR 900幅

家庭用　保証書付

換気連動システム対応型

このレンジフードは、弊社換気連動システムに対応した調理機器との組み合わせにより、換気連動システムとしても使用することができます。
適応する調理機器は販売店にご確認ください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（5ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書（27ページ）は、「お引き渡し日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

特長 ……2～4
安全上のご注意 ……5
使用上のお願い ……6
各部の名前 ……7
使いかた ……8～9
お手入れのしかた……10～18
　適宜 ……11
　1か月に1回程度……12～13
　1年に1回程度 ……14～16
　羽根の汚れが気になったとき …17～18
設定を変えたいとき ……19～21
仕様 ……22
故障かな！？ ……23～24
保証とアフターサービス ……25
保証書 ……27

特長

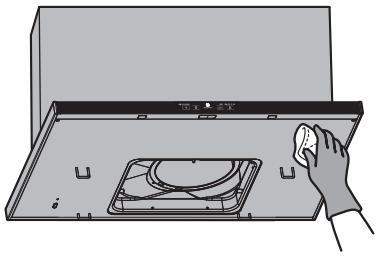
このレンジフードには6つの特長があります。

①さっと拭ける「シンプル＆フラットボディ」

フード表面がフラット化されています。

ガラススイッチ

フラットなガラス面をさっとひと拭き!
タッチパネルスイッチを採用しています。

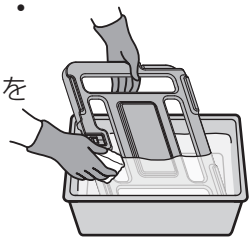


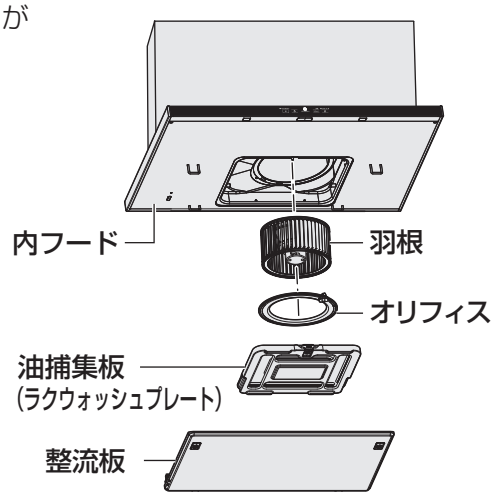
●おそうじラクラク「はつ油塗装」＋「ワンタッチ着脱」

油汚れのとりやすいコーティング（表面処理）がされています。

羽根・オリフィス・油捕集板（ラクウォッシュプレート）・内フード・整流板

はつ油塗装（フッ素処理）をコーティングしています。
油汚れがつきにくく、お手入れラクラク！

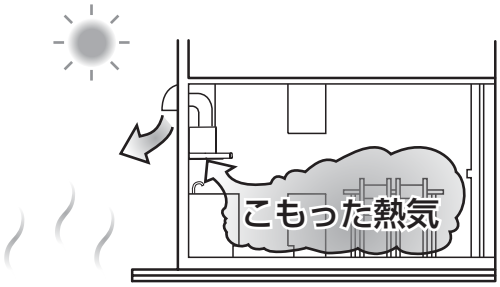




②排熱運転

室内の温度を検知し、室温が高くなると自動で強運転を開始します。

夏場の人がいないときなどに、室内にこもった熱気を室外へ強制的に排出して、帰宅時の不快感を軽減します。



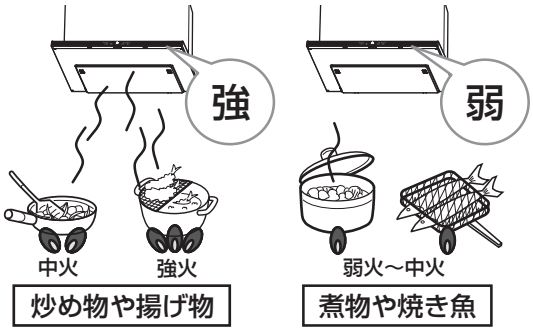
③「エコナビ」で省エネ運転

調理物の温度変化に合わせて風量を自動で調節します。

エコナビ スイッチをタッチすると、エコナビ運転をおこないます。

※お好みに応じてセンサー感度を変更することもできます。（☞19ページ）

●動作の目安



「強め」になる例

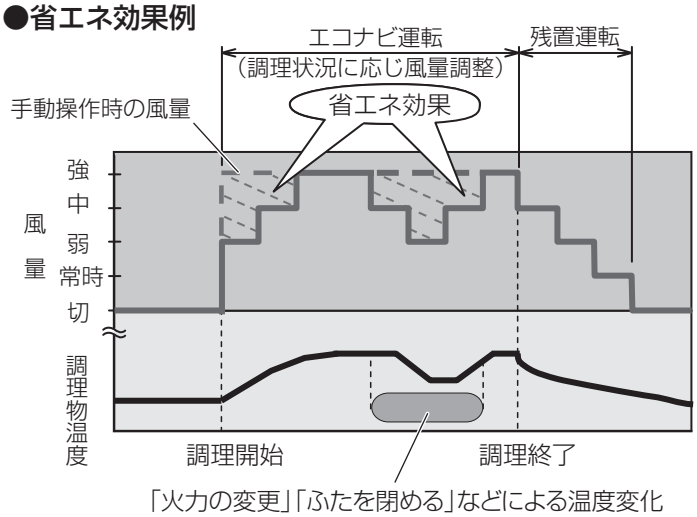
・加熱中の鍋などを移動したとき。
（調理機器のトッププレート上の移動やゴトク上の移動）

「弱め」になる例

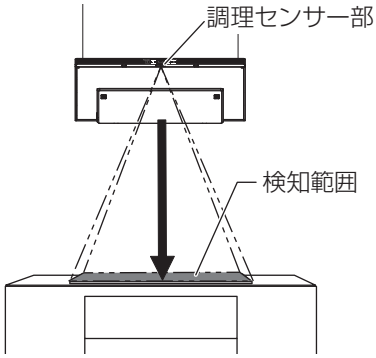
・グリルでさんまなど油の多い食材を焼き、一時的に油煙が発生したとき。
・鍋に大量の食材を入れたとき。

※調理内容、火力により運転風量が変わることがあります。

●省エネ効果例



●検知範囲



④「残置運転」で部屋に残ったニオイを排気

「切」スイッチをタッチしてもすぐには停止せず、一定時間運転してから停止します。

運転中に「 切 スイッチを1回タッチする」または「調理機器からの「切」信号を受信する」と、そのときの風量から1段階弱め、さらに約5分ごとに風量を弱め、最後に停止します。

・残置運転中は風量ランプが点滅します。
・常時換気モードが設定されている場合は最後に停止せず、「常時」運転になります。（☞20ページ）

⑤「油飛散運転」機能（油トルネード機能）で羽根の汚れ付着を大幅に低減

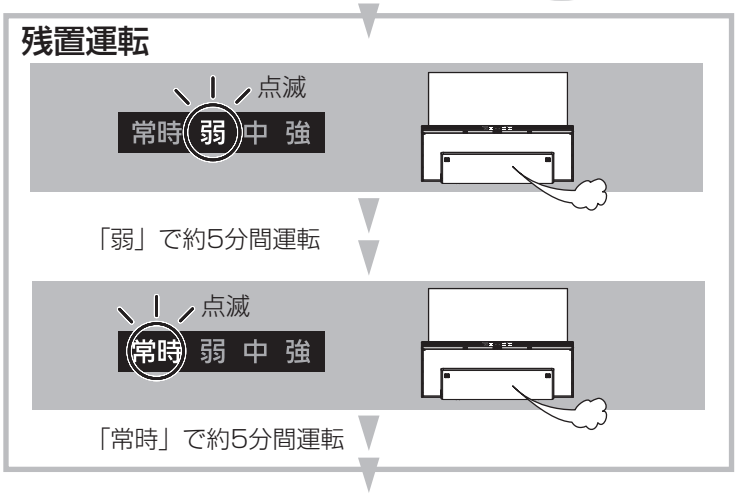
運転停止前に羽根を高速で回転させ、羽根に付着した油を取り除きます。

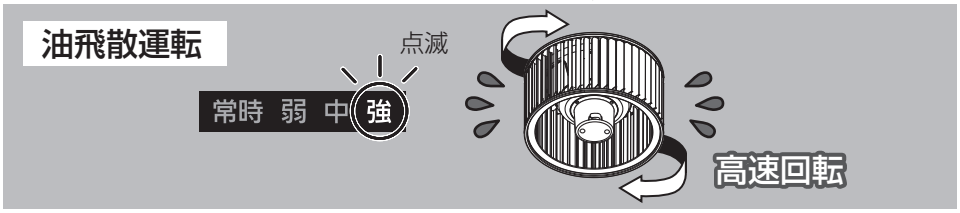
残置運転後に油飛散運転をします。
※残置運転前に「常時」で運転していた場合は油飛散運転しません。

例えば、

●「中」運転を停止したとき

または

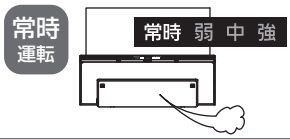




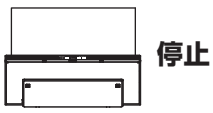
「強」で約10秒間運転

※この運転は解除できます。
（☞20ページ）

「常時換気モード：設定」のとき



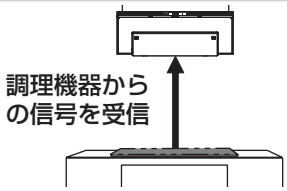
「常時換気モード：解除」のとき



⑥換気連動システムで調理機器と連動運転（換気連動システム対応の調理機器をご使用の場合）

調理機器と連動してレンジフードがエコナビ運転/停止します。

●調理機器からの赤外線信号をレンジフードが受信し、自動的に運転/停止します。
（詳細は ☞9ページ）



安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

分解禁止	**絶対に分解したり、修理・改造しない** 火災・感電・けがの原因になります。 ●修理はお買い上げの販売店・工事店またはこの説明書に記載の「修理ご相談窓口」へご相談ください。
水ぬれ禁止	**モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない** ショートや感電のおそれがあります。
ぬれ手禁止	**分電盤のブレーカーをぬれ手で切／入しない** 感電のおそれがあります。
禁止	**操作部に衝撃を加えたり、お手入れ時に先端の細いもの（特に金属製）を使用しない** 操作部はガラス製です。ひびが入ったり割れたりすると、感電や異常動作の原因となります。
禁止	**ガス漏れのときはレンジフードのスイッチを入れたり切ったりしない** スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。
禁止	**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない** 定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
必ず守る	**a.c.100Vで使用する** 火災・感電の原因となります。
必ず守る	**電気工事、管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう** 火災、感電のおそれがあります。

⚠注意

接触禁止	**運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない** けがをするおそれがあります。
禁止	**フード本体の上には物を置かない** 落下により、けがをするおそれがあります。
禁止	**お手入れの際は、換気連動システムに対応した調理機器を操作しない** けがをするおそれがあります。
禁止	**フード本体にぶら下がったり、もたれたりしない** 落下して、けがをするおそれがあります。
禁止	**照明を直接見ない** 目がくらんだり、傷めたりするおそれがあります。
電源プラグを抜く	**長期間使用しないときは、電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
必ず守る	**使用を終了した製品は放置せず、撤去する** 万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。
必ず守る	**設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する** けがをするおそれがあります。
必ず守る	**本体はしっかり取り付けられているか、確認する** 落下により、けがをするおそれがあります。
必ず守る	**部品は確実に取り付ける** 落下したり、けがをするおそれがあります。
必ず守る	**お手入れの際は、次のことを守る** ・厚手のゴム手袋を使用する ・部品が十分冷めてからおこなう ・本体のスイッチを「切」にし、スイッチをロックする（☞ 8ページ） やけどやけがをするおそれがあります。

使用上のお願い

使用中は

■調理の際は、必ずレンジフードを運転してください。

運転しないとレンジフード内が高温になり、故障の原因となります。

■レンジフード運転時は、十分な給気を確保してください。

給気が不足すると、不完全燃焼・吸い込みが悪くなる・異臭がする・扉が開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

■油に火がついたときは運転を停止してください。

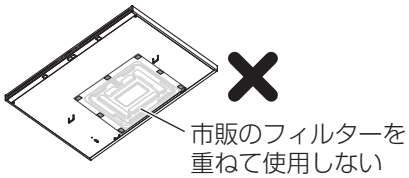
レンジフードが動作していると火の勢いがさらに強くなります。

■調理部周辺に風があたらないようにしてください。

エアコンなどの風を受けると、吸い込みが悪くなります。
特に、IH調理機器は調理による上昇気流が少ないため、油煙がフードから漏れやすくなります。

■油捕集板やフード本体に市販のフィルターを重ねて使用しないでください。

吸い込みが悪くなり、異音が発生する場合があります。



■炎のあがる調理はしないでください。

レンジフード内の異常高温による故障の原因となります。

■テレビやラジオなどは、フード本体から1m以上離してお使いください。

放送電波に雑音が混入し、聞こえにくくなったり、耳ざわりに感じることがあります。

■以下の場合ではスイッチが操作できないことがあります。

・指サック、傷テープ、ゴム手袋などでの操作
・スイッチ表面が濡れている
・スイッチ表面が汚れている

IH調理機器を使うときは

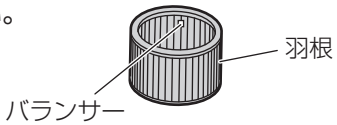
■冬期など気温の低い時期は、結露（水滴）が生じることがあります。

フード本体：結露（水滴）が滴下する前にふき取ってください。
整流板、油捕集板：こまめに水を捨ててください。

お手入れのときは

■羽根を外した状態でスイッチを入れないでください。

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。



■バランサーは外さないでください。

異音や故障の原因となります。
※バランサーが外れた場合は、必ずお買い上げの販売店、工事店または裏表紙に記載の修理ご相談窓口に修理を依頼してください。

製品の移設やリフォーム時の注意

■受信部と照明器具を近づけすぎない。

照明器具が受信部から1m以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります。

■直射日光があたるなど、極端に明るい場所には設置しない。

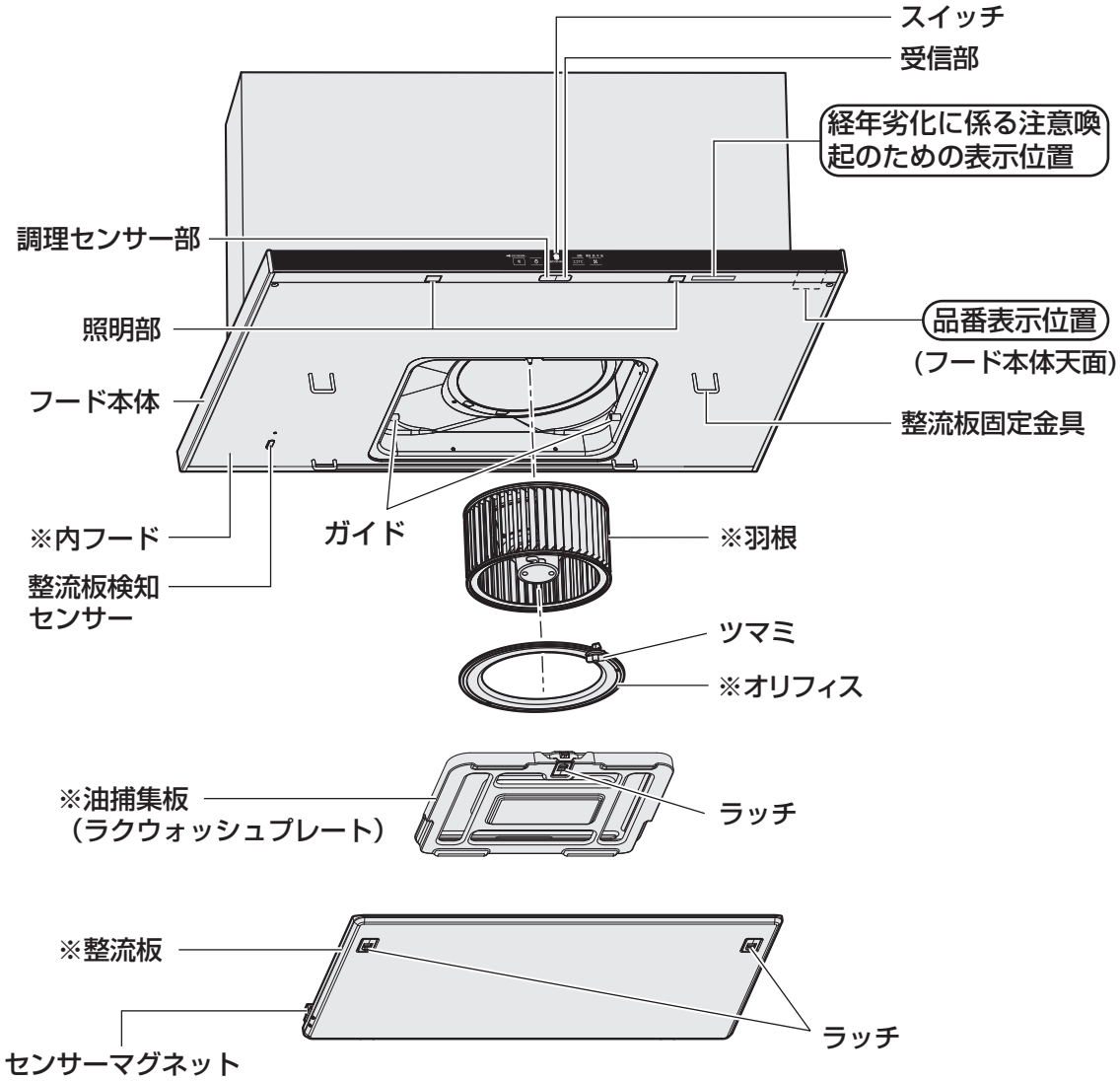
調理機器側からの赤外線の信号受信が妨げられ、動作しないことがあります。

■レンジフード設置後、必ず「取付設置条件の初期設定」をおこなってください。

設置高さ、ガス、IH調理機器の設定をしてください。（☞ 21ページ）
設定しないままですと、エコナビ機能が正常に動作しません。

各部の名前　品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

お願い 品番をご確認ください。
（修理依頼などのアフターサービスをご利用の際に、品番が必要になります）

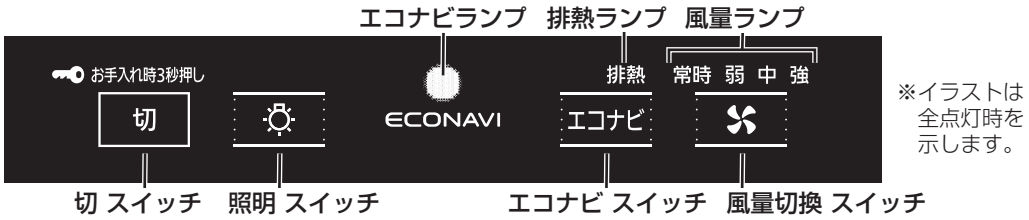


（センサーマグネットを整流板検知センサーが検知しています。
整流板を外している間は（ ）ランプが点滅し、照明スイッチ以外の操作を受け付けません。
ただし、ロック中に整流板を外しても（ ）ランプは点灯のままで、ロックを優先します。）

※印　はつ油塗装をおこなっています。

使いかた

■スイッチ 指で触れるだけで操作できるタッチパネルスイッチを採用しています。



※イラストは全点灯時を示します。

エコナビ
エコナビ スイッチ
ECONAVI
エコナビランプが点灯

停止中にタッチするとエコナビ運転を開始する

調理状況に合わせて風量を自動で制御します。
（**動作の目安** ☞ 3ページ）

・停止中にタッチすると、室内外の圧力差を少なくするため5秒後に羽根が回ります。
・風量が「強め」または「弱め」と感じる場合は、状況に応じて スイッチで風量を切り換えてください。その場合、エコナビ運転は停止し、切り換えた風量で運転します。

風量切換 スイッチ

風量の切り換えをする

停止中に1回タッチすると風量「常時」で運転します。
スイッチをタッチするごとに「ピ」と音が鳴り、 風量が切り換わります。

常時 弱 中 強 → 常時 弱 中 強 → 常時 弱 中 強 → 常時 弱 中 強

＊レンジフード運転中は、風量に合わせて風量ランプが点灯します。

常時
住宅全体の連続換気。
油煙の非常に少ないとき。

弱～強
油煙の量に合わせて使い分けます。
弱…油煙の少ないとき。
中…通常の運転のとき。
強…早く換気したいとき・油煙が多いとき。

照明 スイッチ

照明をつける/消す

タッチするごとに点灯⇔消灯します。

切
切 スイッチ

運転中にタッチすると運転を停止する

残置運転（☞ 3ページ）を開始します。
残置運転終了時に照明が消灯します。

残置運転開始＊

すぐに停止

＊常時換気に設定されていると、停止せず常時運転になります。（☞20ページ）
もう1度タッチするとすぐに停止します。

排熱ランプが点滅しているときに運転を停止したい場合は
と エコナビ を3秒以上同時押しで停止します。
（排熱運転が解除されます ☞ 19ページ）

停止中に3秒長押ししてスイッチロックを設定する/解除する

お手入れの際、けが防止のためにスイッチを操作できなくします。

設定する

解除する

設定中は（ ）ランプが点灯し、他のスイッチを操作しても運転しません。
（ピーピーピーピー音）

常時換気運転について

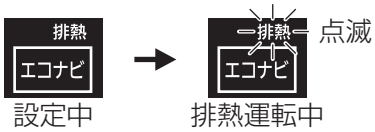
本レンジフードは建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備として使用できます。
■常時換気設備として使用する場合は、スイッチ近傍に「24時間連続換気してください」のお願いラベルが貼ってあります。
・調理時やお手入れ時以外は、常に「常時」運転で連続換気をおこなってください。

排熱運転

室内の温度を検知して、室温が高くなると自動で強運転を開始し、低くなると停止します。

設定中は排熱ランプが点灯し、排熱運転中は点滅します。（設定／解除 ☞ 19ページ）

・排熱運転の開始温度は変更することができます。（☞ 19ページ）



・室外が室内より暑いと、暑い空気を取り入れることがあります。
・室温が高くてもレンジフード周囲の温度が低いと運転しないことがあります。
・全館空調の場合、動作条件にいたらず運転しないことがあります。
　また、排熱運転が長時間続いた場合には、換気バランスが変化し、
　他の換気システムの換気量に影響を及ぼすことがあります。
　他の換気システムの換気量に影響がある場合は、排熱運転の使用をお控えください。
・発熱するもの（炊飯器等）、コンロ使用後の余熱などの影響で排熱運転を開始する場合があります。
・排熱運転を設定する際は、室内に空気の取り入れ口があることをご確認ください。
　空気の取り入れが不十分な場合、換気性能が低下したり、帰宅時の扉の開閉が重たくなるおそれがあります。

換気連動システム（換気連動システム対応の調理機器をご使用の場合）

調理機器からの赤外線信号をレンジフードが受信し、自動的に運転/停止します。

調理機器の操作	レンジフードの動作	風量ランプ
入	「エコナビ運転」し、照明が点灯　※1	風量ランプが点灯
切	残置運転したあと、停止し、照明が消灯　※2	風量ランプが点滅し、その後消灯

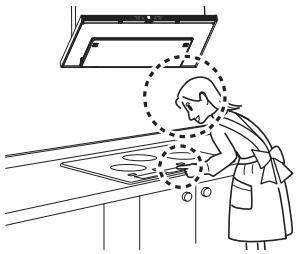
※1　エコナビ運転中に手動で風量を切り換えると、エコナビ運転は停止し、切り換え風量で連続運転します。
※2　常時換気モードに設定されているときはレンジフードは停止せず、風量「常時」で24時間連続運転します。

赤外線信号をさえぎると換気連動システムが働かないことがあります。

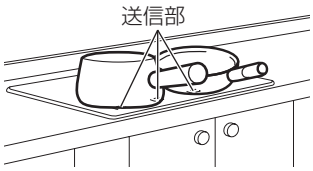
IH調理機器では

調理機器の送信部から本機の受信部へ赤外線信号を送っています。

○ 赤外線信号をさえぎらないように操作する。



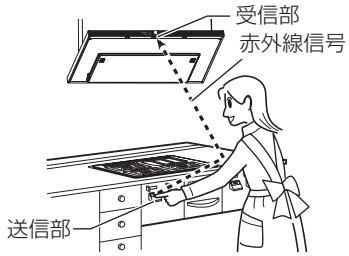
× レンジフードの真下に頭を近づけない。



× 鍋などで、送信部を隠さない。

ガス調理機器では

赤外線信号を人に反射させています。



○ カウンターから約20～30cm離れ、送信部の正面で操作する。

×

●次のような場合は連動しないことがあります。
　・送信部に近すぎる
　・送信部から離れすぎている
　・正面に立っていない
　・黒っぽい服を着ている
　（赤外線信号が反射されにくいため）
　連動しないときは、レンジフード本体のスイッチで操作してください。

●ガス調理機器の電池が消耗すると正常に動作しません。
　調理機器の説明書を確認し、電池を交換してください。

・換気連動システムは、弊社換気連動システム対応の調理機器との組み合わせが必要です。
　（他社製調理機器との組み合わせでは動作しないことがあります）
　対応調理機器については販売店までお問い合わせください。
・調理機器の取扱説明書もよく読んでご使用ください。
・換気連動システムが正しく動作しているか、調理機器のスイッチでご確認ください。

お手入れのしかた

⚠ 警告

水ぬれ禁止	**モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない** ショートや感電のおそれがあります。
禁止	**操作部に衝撃を加えたり、お手入れ時に先端の細いもの(特に金属製)を使用しない** 操作部はガラス製です。 ひびが入ったり割れたりすると、感電や異常動作の原因となります。

⚠ 注意

接触禁止	**運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない** けがをするおそれがあります。
禁止	**お手入れの際は、換気連動システムに対応した調理機器を操作しない** けがをするおそれがあります。
必ず守る	**お手入れの際は、次のことを守る** ・厚手のゴム手袋を使用する ・部品が十分冷めてからおこなう ・本体のスイッチを「切」にし、スイッチをロックする（☞ 8ページ） やけどやけがをするおそれがあります。

お願い

■製品の変色、変質、変形防止のため、下記の洗剤などは使わないでください。
■部品の変色、変質、変形防止のため、高温（浴用より高い）の湯で漬け置き洗いはしないでください。羽根は食器洗い乾燥機は使用できません。
■高圧清掃水、高温スチームは使用しないでください。

・汚れを長期間放置すると、油の滴下や汚れが落ちなくなったり、部品が外れなくなったりすることがあります。早めにお手入れをしてください。
・お手入れ時は調理をやめ、鍋などはレンジフードの下に置かないでください。
・高いところでの作業は、足元に十分注意してください。

✕ 塗装の変質・変色・はがれ防止のため、下記のようなものなどは使用しないでください。

はつ油塗装について

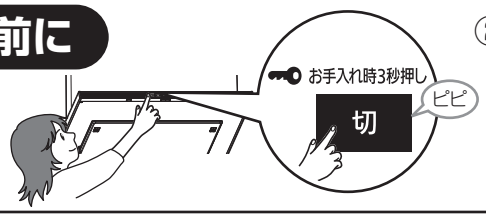
■内フード、整流板、油捕集板、オリフィス、羽根には油汚れの取りやすい「はつ油塗装（フッ素処理）」をしています。

お願い

・油汚れをとりやすくする効果を生かすため、「お手入れのしかた」に従って掃除してください。長い間掃除しないと油汚れが落ちにくくなることがあります。
・金属たわしなどの硬いものは、コーティングを傷付けますので使用しないでください。

お手入れの前に

①スイッチをロックする
「切」を3秒長押し

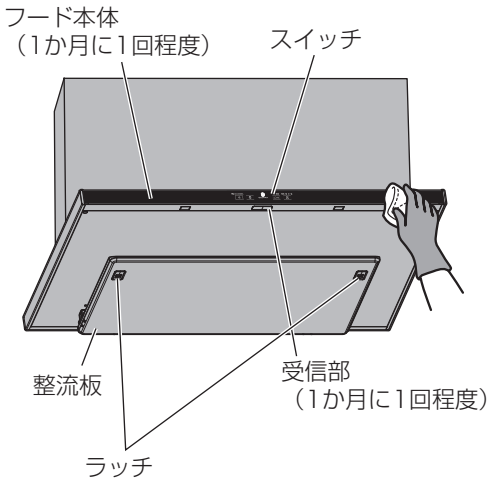


②厚手のゴム手袋をする

※お手入れのあとはスイッチのロックを解除してください。
（「切」を3秒長押し）

フード本体外側のお手入れ

お願い
・水や洗剤などを直接吹きつけないでください。故障や誤動作の原因になります。



お願い
・日常的にお手入れをしてください。受信部が汚れていると、受信性能が低下します。
・換気連動システムをご使用の場合は、調理機器の送信部の汚れをふき取ってください。

①ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取る。

②水ぶきする。
・ご使用頻度や環境、調理の種類により汚れ度合いは異なり、付着した水分や油分が滴下するおそれがありますので、滴下前にふき取ってください。

お願い
・整流板固定金具を変形させないでください。整流板が落下するおそれがあります。
・部品が傷んできたら、早めに交換してください。

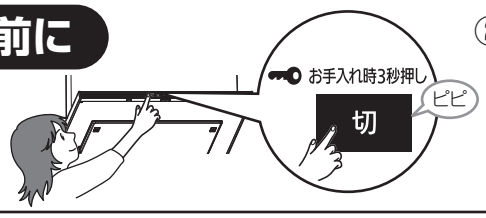
「1か月に1回程度のお手入れ」→次ページ

お手入れのしかた（続き）

お手入れ
1か月に1回程度

お手入れの前に

①スイッチをロックする
「切」を3秒長押し

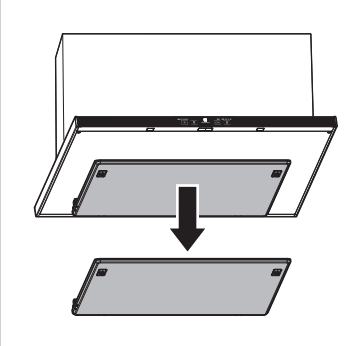


②厚手のゴム手袋をする

※お手入れのあとはスイッチのロックを解除してください。
（「切」を3秒長押し）

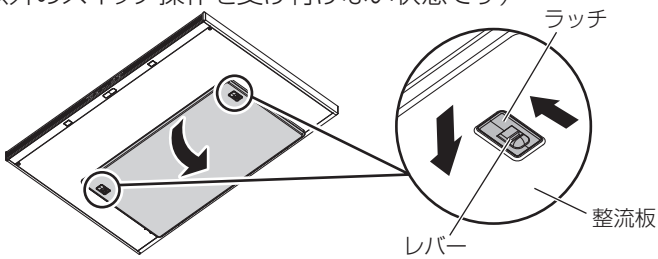
1 整流板のお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す



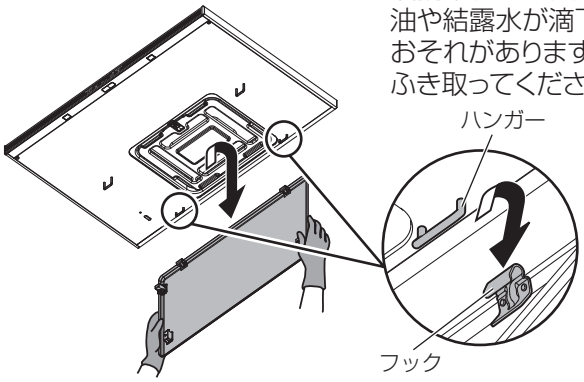
※油や結露水が流れ出ることがあります。
整流板を下まで下げる前に、内側を確認し、たまった油や結露水はキッチンペーパーなどでふき取ってください。

①ラッチのレバーを手前に引きながら、引き下げる。
※整流板を外すと「ピーピーピーピー」と音が鳴ります。
（整流板検知センサーにより、運転を一時停止し、照明スイッチ以外のスイッチ操作を受け付けない状態です）

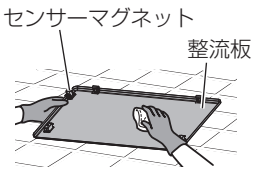


お願い 整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。落下させると、変形および破損のおそれがあります。

②フックをハンガーから外す。 ※油捕集板の表面に付着した油や結露水が滴下するおそれがあります。滴下前にふき取ってください。



汚れを取る

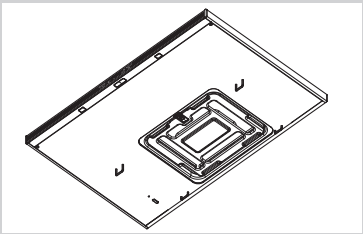


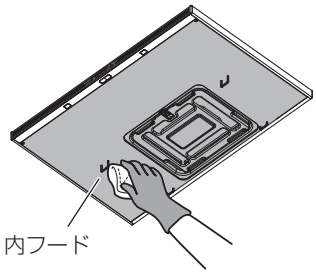
①水分を含ませたやわらかいスポンジ・ふきんなどで汚れをふき取る。
②がんこな汚れの場合は、台所用中性洗剤に浸したやわらかいスポンジで汚れをふき取る。洗剤が残らないように水ぶきする。

お願い
- 外した整流板は平らな場所でお手入れをしてください。変形・傷の原因となります。
- シンク内で洗う場合は、やわらかい布または市販のシンクマットを敷いてください。整流板やシンクに傷がつく原因になります。
- 整流板に強い力を加えないでください。変形・傷の原因となります。
- センサーマグネットは絶対に外さないでください。故障の原因となります。

2 内フードのお手入れ（汚れを取る）

汚れを取る

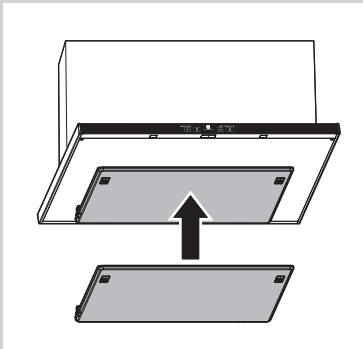




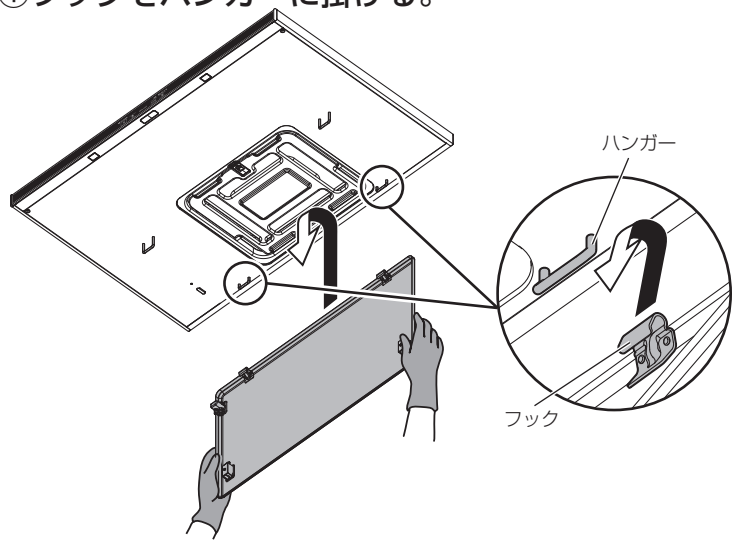
台所用中性洗剤に浸したやわらかいスポンジで汚れをふき取る。
洗剤が残らないように水ぶきする。

3 整流板を取り付ける

取り付ける

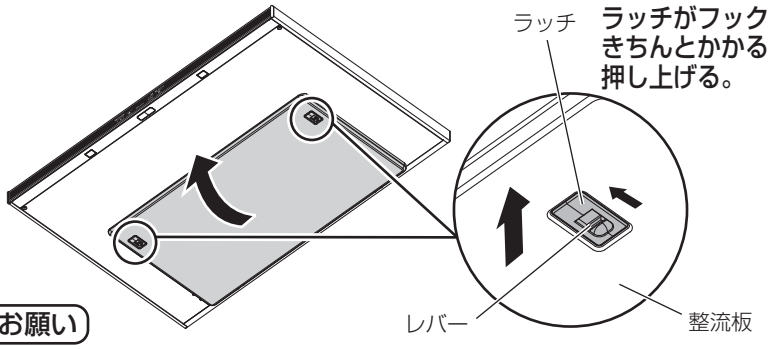


①フックをハンガーに掛ける。



②ラッチのレバーを手前に引きながら、押し上げる。

※整流板を取り付けると「ピ」と音が鳴ります。
（運転一時停止が解除され、整流板を外す前の運転状態に戻ります）



お願い

- 整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
  落下させると変形および破損のおそれがあります。
- 整流板がきちんと固定されているか確認してください。
  固定されていないと落下するおそれがあります。
- 整流板が外れていると照明スイッチ以外のスイッチ操作ができません。

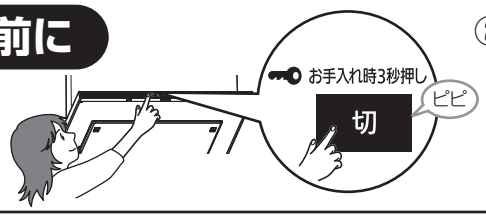
「1年に1回程度のお手入れ」→次ページ

お手入れのしかた（続き）

お手入れ
1年に
1回程度

お手入れの前に

①スイッチを
ロックする
「切」を3秒長押し



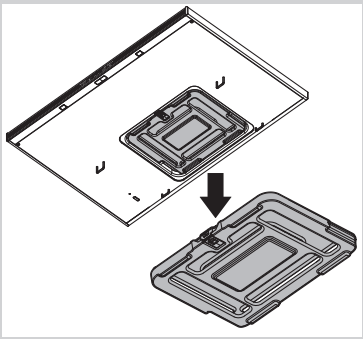
②厚手のゴム手袋
をする

※お手入れのあとは
スイッチのロックを
解除してください。
（「切」を3秒長押し）

1 整流板・内フードのお手入れをする
（1 ～ 2 12～13ページ）

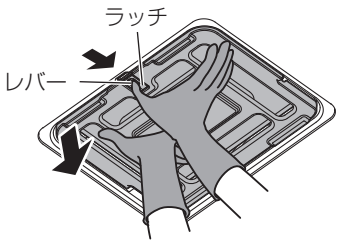
2 油捕集板のお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す

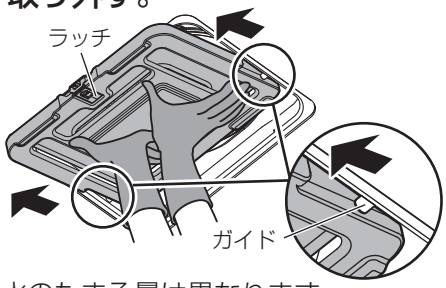


※油だれに注意してください。

①ラッチのレバーを
奥側に押しながら、
引き下げる。



②油捕集板の中央を持ち、ガイド
にそって手前へスライドさせ、
取り外す。

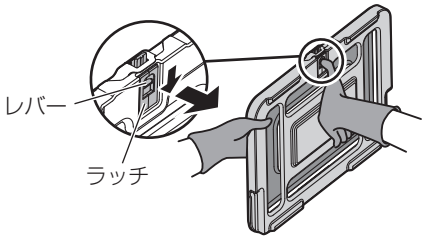


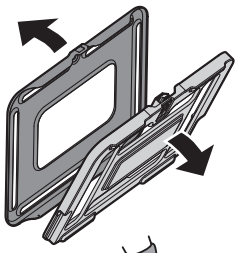
・使用状況により、油や結露水のたまる量は異なります。
・油の使用量、コンロの違いなどの使用環境により油や結露水が
たまらない場合がありますが、異常ではありません。
・表面に油（水）滴が付着する場合があります。

汚れを取る

※油捕集板は食器洗い乾燥機で
洗うことができます。
その際には、油捕集板を2つに
分解して洗浄してください。
分解しないと、内側が洗えなかっ
たり、重なり合わせたときに
接触する部分がこすれあって
傷つくことがあります。
※他の食器や調理小物と一緒に
洗浄しないでください。
※食器洗い乾燥機を使う頻度が多い
と、はつ油塗装効果が弱くなった
り、塗装がはがれることがあります。
※深い傷があるとさびの原因と
なります。
早めに交換してください。
※汚れによっては食器洗い乾燥機
で汚れが落ちきらない場合が
あります。その際は手洗いと
併用してください。
※油捕集板、オリフィス以外は、
食器洗い乾燥機は使用できません。
さびや変色のおそれがあります。

①ラッチのレバーを押しながら外す。

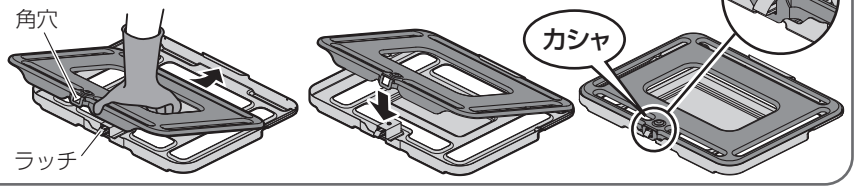




②ぬるま湯を入れた容器に浸し、やわらかい
スポンジなどで汚れを洗い落とす。

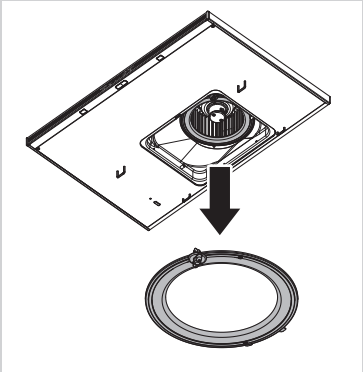
お願い
・金属たわしなどの硬いものは、コーティングを
傷付けますので使用しないでください。

③水分をよくふき取り、乾燥させる。
④ラッチのレバーを押しながら油捕集板を取り付ける。

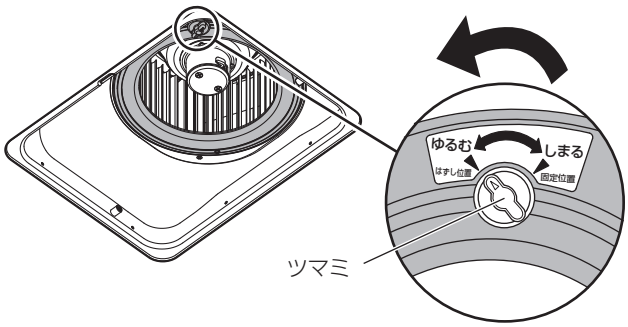


3 オリフィスのお手入れ（外しかた／汚れを取る）

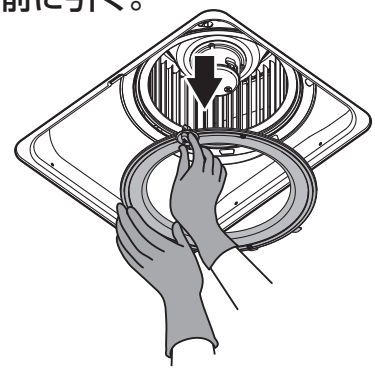
取り外す



①ツマミを「ゆるむ」の方向に回す。



②手前に引く。



お願い

・オリフィスは手でささえ、落下しないようにゆっくり外してください。
・油や結露水が流れ落ちないようにオリフィスを外してください。

汚れを取る

※オリフィスは食器洗い乾燥機で洗うことができます。
※他の食器や調理小物と一緒に洗浄しないでください。
※食器洗い乾燥機を使う頻度が多いと、はつ油塗装効果が弱くなったり、塗装がはがれることがあります。
※深い傷があるとさびの原因となります。
早めに交換してください。
※汚れによっては食器洗い乾燥機で汚れが落ちきらない場合があります。その際は手洗いと併用してください。
※油捕集板、オリフィス以外は、食器洗い乾燥機は使用できません。さびや変色のおそれがあります。

①ぬるま湯を入れた容器に浸し、やわらかいスポンジなどで汚れを洗い落とす。

お願い

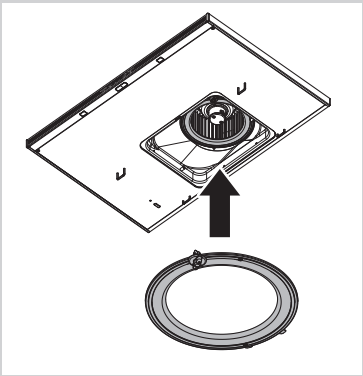
・しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。
・金属たわしなどの硬いものは、表面を傷付けることがありますので、使用しないでください。

②洗剤が残らないようによく洗い流し、水分をよくふき取り、乾燥させる。

→4へつづく

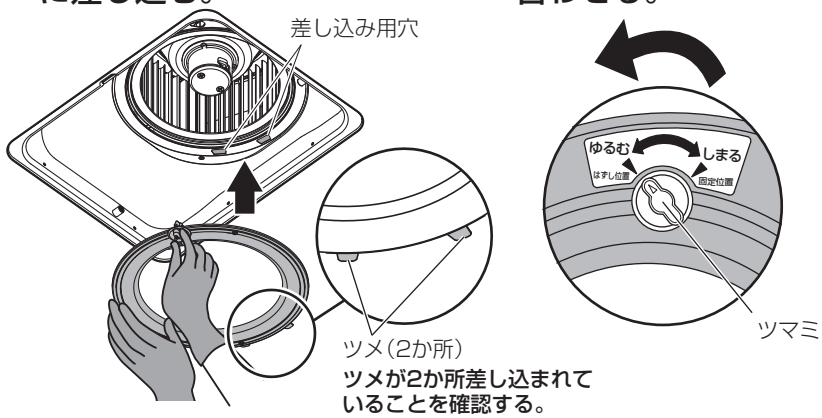
4 オリフィスを取り付ける

取り付ける

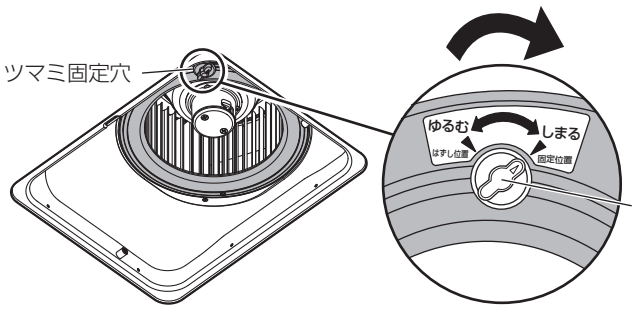


①ツメ（2か所）を差し込み用穴に差し込む。

②ツマミを「ゆるむ」に合わせる。

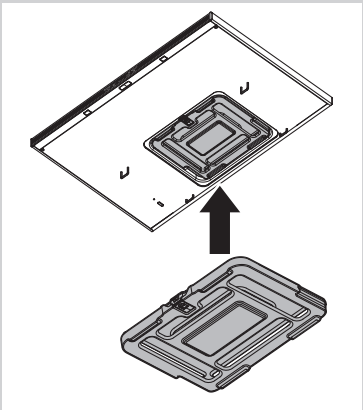


③ツマミを「ツマミ固定穴」に入れ、「しまる」に合わせる。



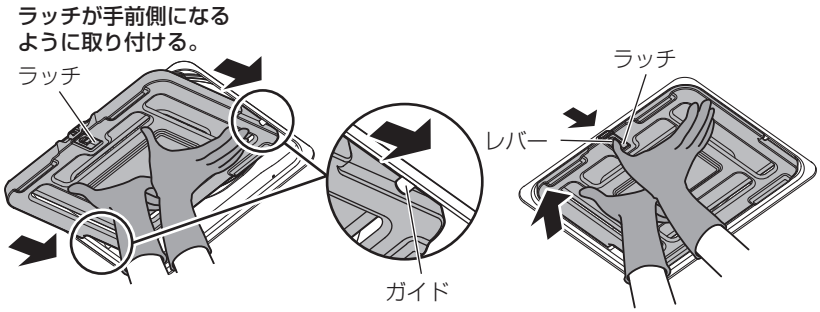
5 油捕集板を取り付ける

取り付ける



①油捕集板の中央を持ち、端をガイドにのせて奥にスライドさせる。

②ラッチのレバーを奥側に押しながら、押し上げてはめる。



お願い 油捕集板がきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

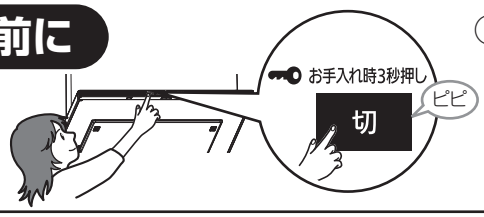
6 整流板を取り付ける（ 3 13ページ）

お手入れ
羽根の汚れが気になったとき
(1~10年に1回程度)

12～16ページを参考に各部品を取り外し/取り付けしてください。

お手入れの前に

①スイッチをロックする
「切」を3秒長押し

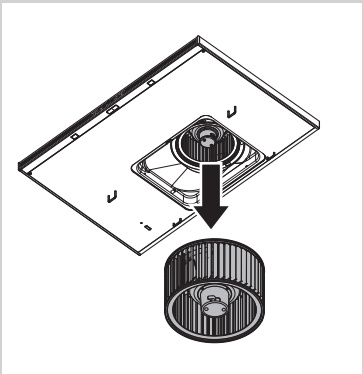


②厚手のゴム手袋をする

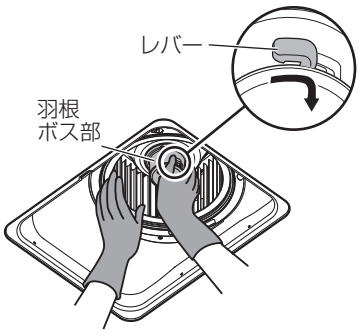
※お手入れのあとはスイッチのロックを解除してください。
(「切」を3秒長押し)

羽根のお手入れ

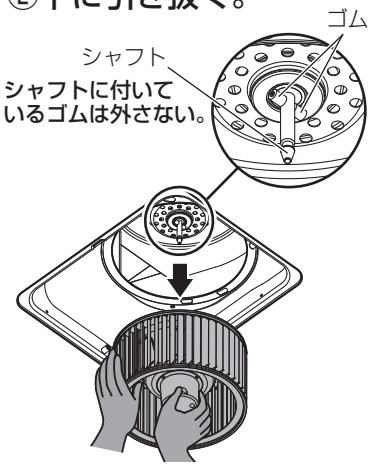
取り外す



①羽根ボス部のレバーを矢印の方向に押しながら、



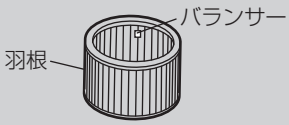
②下に引き抜く。



羽根は手でささえ、落下しないようにゆっくり外す。

汚れを取る

※食器洗い乾燥機は使用できません。
※羽根の回転バランスをとるためにバランサー(重り)が付いている場合があります。絶対に外したり、動かしたりしないでください。
異常や故障の原因となります。



①ぬるま湯を入れた容器に浸し、やわらかいスポンジなどで汚れを洗い落とす。

お願い

・しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。
・金属たわしなどの硬いものは、表面を傷付けることがありますので、使用しないでください。

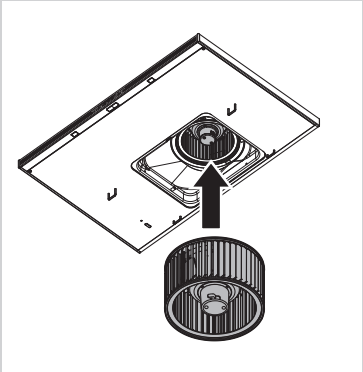
②洗剤が残らないようによく洗い流し、水分をよくふき取り、乾燥させる。

お願い

・羽根はシャフトに挿入する部分に潤滑剤などをさしてから取り付けてください。
羽根ボス部がシャフトにさび付くことを防止します。

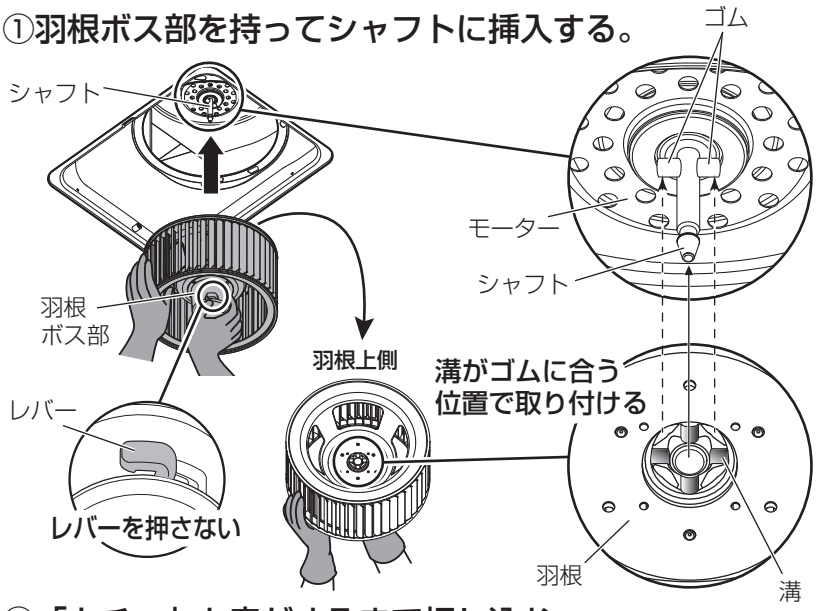
→次ページへつづく

取り付ける



※羽根は変形させないよう
十分気を付けてください。
※シャフトにゴムが付いて
いるか確認してください。

①羽根ボス部を持ってシャフトに挿入する。



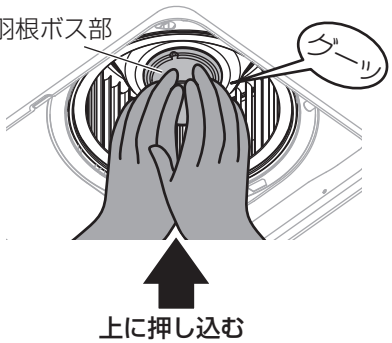
②「カチッ」と音がするまで押し込む。

※羽根が突き当たるまで
十分に押し込むと
はまります。

お願い

**1. 羽根は両手で奥まで
強く押し込む。**

※突き当たるまで
押し込んでください。
※羽根ボス部を両手で上に
強く押してください。
※取り付け時はカウンターに
乗らないで、踏み台などを
使用してください。
カウンターが割れる可能性
があります。



**2. 両手で強めに
引っ張って確認する。**

※固定が不十分な場合、
外れることがあります。
ご注意ください。

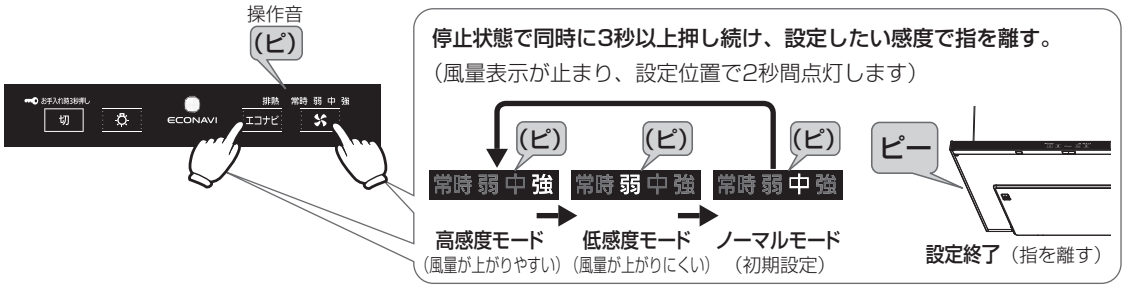
※羽根が完全に挿入されていないと、羽根が外れる原因になります。

設定を変えたいとき

下記の設定は、一度設定すれば、電源プラグを抜いたり、停電しても記憶されています。再度設定する必要はありません。

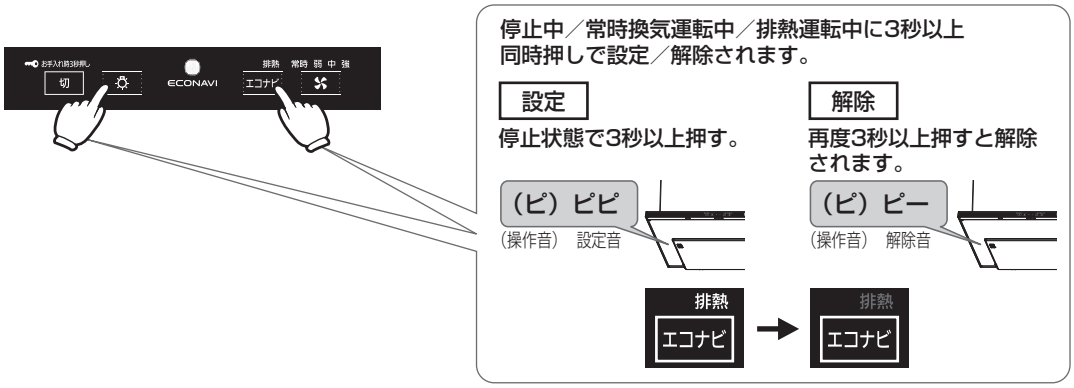
エコナビ運転のセンサー感度を変える

風量を「上がりやすく」または「上がりにくく」します。
販売時は「ノーマルモード」です。



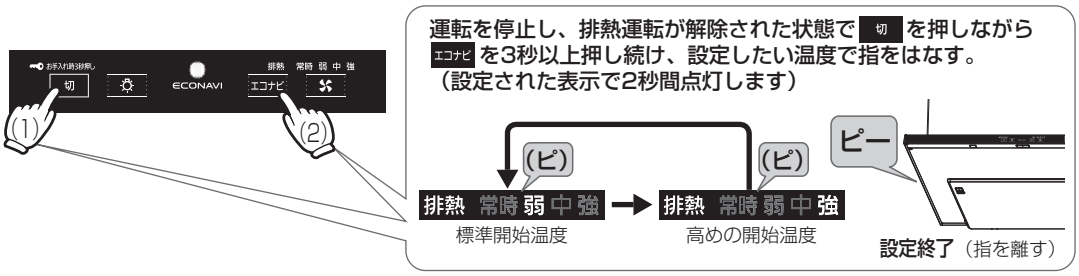
排熱運転の設定/解除

室内の温度を検知し、室温が高くなると自動で強運転を開始する機能です。販売時は「解除」されています。



排熱運転の開始温度を変える

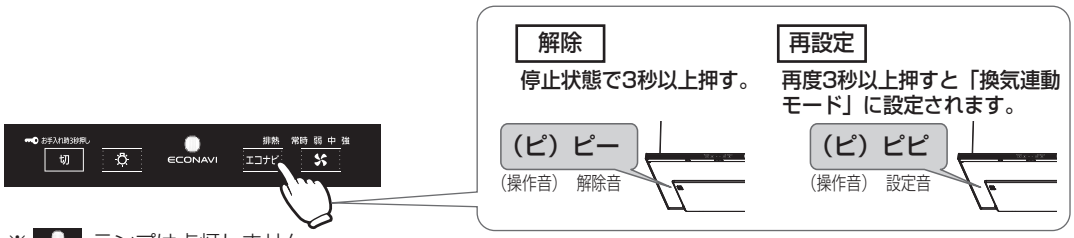
排熱運転の頻度を減らしたい場合に排熱運転の開始温度を高めに設定できます。
販売時は「標準開始温度」に設定されています。



※ 切 のみを3秒以上長押しするとスイッチがロックします。
解除するには 切 を再度3秒長押ししてください。

換気連動モードの設定/解除

調理機器の「切/入」と連動してエコナビ運転します。
販売時は「設定」されています。



※ ECONAVI ランプは点灯しません。

設定を変えたいとき（続き）

常時換気モードの設定/解除

レンジフードを常時換気設備として使用する場合に設定します。
販売時は「解除」されています。

※スイッチ近くに 24時間連続換気してください の
ラベルが貼ってある場合、建築基準法により
常時換気が必要な建物です。
「常時換気」運転を設定してご使用ください。

設定

停止状態で3秒以上押す。

（ピ）ピピ
（操作音） 設定音

※調理機器を切るか、「切」を1回タッチすると、残置運転後に「常時」で24時間連続換気します。

解除

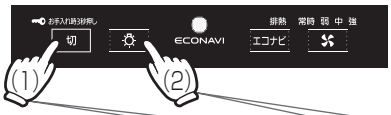
再度3秒以上押すと「常時換気モード」が解除されます。

（ピ）ピー
（操作音） 解除音

※調理機器を切るか、「切」を1回タッチすると、残置運転後に停止します。

油飛散運転の設定/解除

残置運転後に羽根を高速回転させ、羽根に付着している油を取り除きます。
販売時は「設定」されています。



※「解除」にすると羽根の汚れが低減できません。

解除

(1)停止状態で 切 を押しながら
(2) ☼ を３秒以上を押す。

解除音 ピー

再設定

再度3秒以上押すと「高速回転モード」に設定されます。

設定音 ピピ

※ 切 のみを3秒以上長押しするとスイッチがロックします。
解除するには 切 を再度3秒長押ししてください。

取付設置条件の初期設定 リフォーム、調理機器の買い替え、「 」「 ECONAVI 」が点滅しているときに。

この操作は、設定が正しくされていないと思われるときのみにおこなってください。

※ ランプと ECONAVI ランプ（緑）が点滅しているときは、初期設定がされていません。
下記に従い設定をおこなってください。設定が終了するとランプは消灯します。
電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定は記憶されています。
再度セットする必要はありません。

<スイッチ>

① レンジフードの下端と調理機器上部の距離を測る。
（右図参照）

② 切 を3秒以上押してスイッチをロックする。
（「ピピ」と音がして、 ランプが点灯します）

③ を押しながら、 を3秒以上押す。
（「ピピ」と音がして設定しているランプ（ ECONAVI 、風量ランプ）が点灯します）

④ エコナビ を押して使用調理機器の種類を選択する。

ECONAVI ランプ	使用調理機器
点灯	IH調理機器
点滅	ガス調理機器

（ランプ切り換わり時に「ピ」と音がします）

⑤ を押して①で測った距離を設定する。
（ランプが下記のように切り換わり、都度「ピ」と音がします）

ランプ点灯状態	距離（mm）	
	S09BHWZ3ML S09BHWZ3MR	左記以外
常時 点灯	800 ～ 849	800 ～ 849
弱 点灯	850 ～ 900	850 ～ 899
中 点灯	―――	900 ～ 949
強 点灯	―――	950 ～ 1000
常時＋弱 点灯	600 ～ 649 ※	
常時＋中 点灯	650 ～ 699 ※	
常時＋強 点灯	700 ～ 749 ※	
弱＋強 点灯	750 ～ 799 ※	

※防火性能評定品のガス調理機器または特定安全 IH 調理器適合品の IH 調理機器との組み合わせにおいてのみ、600 ～ 799(mm) で設置することが可能です。

⑥ 切 を押して設定を終了する。
（「ピー」と音がしてランプがすべて消灯します）

仕様

品　番	質量(kg)
S17BHWZ2ML	16.5
S17BHWZ2MR	
S17BHWZ3ML	17.5
S17BHWZ3MR	
S09BHWZ3ML	15.5
S09BHWZ3MR	

定　格	風量調節	消費電力(W)	換気風量(m^3/h)	騒音(dB)
a.c.100V 50/60Hz	強	38	440	46
	中	14.5	300	38
	弱	6	180	27
	常時	4.5	135	21.5

●上記仕様は静圧 0Pa（パスカル）時の値です。
　静圧 0Pa（パスカル）とは、レンジフードにおよぼす圧力が「0（ゼロ）」の状態を示します。
●このレンジフードは、ご使用にならないときでも約0.5Wの電力を消費しています。
●レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。
●消費電力・換気風量・騒音の測定は JIS C 9603 によります。
●騒音値は当社無響音室で測定した値ですので、実際に設置した状態では反響などの影響を受け、
　表示数値より高くなります。

故障かな！？ 修理を依頼される前に次の点をもう一度お調べください。

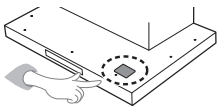
お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

1

下記の項目を読み、該当する内容がないか確認する。

該当する項目が無ければ・・・

2 「品番表示位置」で、製品の品番を確認する。



3

お買い上げの販売店または裏表紙に記載のご相談窓口に電話する。

症　　状	原　　因	対　応（参照ページ）
運転しない	スイッチがロックされていませんか。（🔑 ランプが点灯）	ロックを解除してください。（8ページ）
	分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか。	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
	整流板が外れていませんか。（🔑 ランプが点滅）	整流板を取り付けてください。
吸い込みが悪い	屋外フードが目づまりしていませんか。	屋外フードを清掃してください。
	油捕集板が油、ほこりなどで目づまりしていませんか。	清掃してください。（10～18ページ）
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
	エアコンなどの風があたっていませんか。	風があたらないようにしてください。
	設置条件の設定は正しいですか。	設定が正しいかご確認ください。（21ページ） それでも直らないときは、エコナビ運転のセンサー感度を変更し、排気風量を（「上がりやすく」または「上がりにくく」に）設定することができます。（19ページ）
換気連動しない（調理機器を「入・切」してもレンジフードが動作しない）	換気連動モードが解除されていませんか。	換気連動モードを再設定してください。（19ページ）
	送信部・受信部が汚れていませんか。	清掃してください。（11ページ）
	<IH調理機器の場合> 鍋などで送信部が隠されていませんか。	送信部が隠れないようにしてください。（9ページ）
	<ガス調理機器の場合> ・赤外線信号が反射できていないおそれがあります。	送信部の近くに立ちすぎたり、離れすぎている場合、動作しないことがあります。（9ページ）
	<ガス調理機器の場合> ・調理機器の電池が消耗していませんか。	調理機器の電池を確認してください。（9ページ）
調理機器側の操作で羽根の運転が停止しない	常時換気モードに設定されていませんか。	設定を解除してください。（20ページ）
給気電動シャッターが閉じるのが遅い	―――	故障ではありません。 シャッターからの風切り音を低減させるためです。

故障かな！？（続き）

症　　状	原　　因	対　応（参照ページ）
急に動き始める	油飛散運転が設定されていませんか。	油飛散運転の運転音が気になる場合は設定を解除してください。（20ページ）
	排熱運転が設定されていませんか。（**排熱**ランプが点滅）	排熱運転の設定は解除することができます。（19ページ）
排熱運転の解除操作をしていないのに解除される	排熱運転を開始してから24時間経過していませんか？	故障ではありません。 排熱運転が継続すると運転を停止し、設定を解除する仕様です。 排熱運転を継続したい場合は、もう一度設定してください。（19ページ）
運転終了直後に風切り音がする	電動シャッターを使用していませんか。	故障ではありません。 シャッターが閉まるときに空気の通路が狭くなるために起こる音です。
異常音がする	オリフィス固定のツマミがゆるんでいませんか。	ツマミを締め直してください。（16ページ）
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
	羽根の取り付けが不十分なおそれがあります。	羽根を取り付け直してください。（18ページ）
「🔑」と「ECONAVI」ランプが同時に点滅している	「取付設置条件の初期設定」がされていません。	「取付設置条件の初期設定」を参考に設定してください。（21ページ）
「常時」「弱」「中」「強」ランプがすべて同時に点滅している	（初めてお使いの場合） 梱包材が取り外されていない可能性があります。	整流板、油捕集板、オリフィスを外し、梱包材を取り外してください。（12～15ページ） １度分電盤のブレーカーを切ってから再度運転してください。
	モーター故障のおそれがあります。	使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店、工事店または裏表紙に記載の修理ご相談窓口にお問い合わせください。
「常時」＋「中」と「弱」＋「強」ランプが交互点滅している	通信エラーのおそれがあります。	
「ECONAVI」ランプが点滅している	センサー故障のおそれがあります。	
レンジフード運転中、風量ランプが点滅している	残置運転中は、風量ランプが点滅します。	故障ではありません。
油捕集板に油がたまっていない	油の使用量、コンロの違いなどの使用環境により油や結露水がたまらない場合があります。	故障ではありません。

処置したあとに、なお異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店・工事店または裏表紙に記載のご相談窓口にお問い合わせください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「故障かな！？」（23 ～ 24 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	レンジフード
●品　番	
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

●転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談内容に応じた窓口にご相談ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

MEMO

Panasonic

出張修理

レンジフード保証書

※お客様	お名前　　様 ご住所 電話番号	※お引渡し日	年　　月　　日
※販売店	取扱販売店名･住所･電話番号	シリーズ･品番	S17BHWZ2ML, S17BHWZ3ML, S09BHWZ3ML S17BHWZ2MR, S17BHWZ3MR, S09BHWZ3MR
		保証期間	（お引渡し日から）　1年間 （ただし消耗部品は除く）

ご販売店様へ　上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

見本

無料修理規定

本書はお引渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
   （ハ）この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）消耗部品（電球、フィルター、電池）の取替えや修理
   （ハ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
   （ニ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）等による故障及び損傷
   （ホ）車両、船舶等に搭載された場合に生じた損傷
   （ヘ）仕上げのキズ等で、お引き渡し時に申し出がなかったもの
   （ト）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、変質、変色、その他類似の事由による場合
   （チ）維持管理の不備による汚れ、さび等の異常現象
   （リ）取付設置説明書に記載された方法以外の使用に起因する損傷や故障
   （ヌ）契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
   （ル）保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
   （ヲ）一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
   （ワ）本書のご提示がない場合
   （カ）保証書にお引き渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
   （ヨ）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
4. 無料修理により取り外された部品・製品は、弊社の所有になります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お客様ご相談窓口は裏表紙をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社　水廻りシステム事業部
〒571-8686　大阪府門真市大字門真1048　TEL(06)6909-7676（代表）
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511（代表）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　日本産業規格 JIS C 9921-2 による

環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzおよび / または60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の取付設置説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間[a)] 台所　2410時間/年 居室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴室　1671時間/年	
注[a)]　常時換気（24時間連続換気）のものは、8760時間/年とする。			

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用　https://sumai.panasonic.jp/parts/

【受付時間】月～金 / 9:00～18:00　土・日・祝日 / 9:00～17:00

携帯OK **0120-055-802**（ゴーゴー パーツ）※携帯電話からもご利用になれます。

※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。
●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1224

修理のご用命は

修理ご相談窓口 ※インターネットでのご依頼も可能です。　https://sumai.panasonic.jp/support/repair/

【受付時間】月～土 / 9:00～19:00　日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00

携帯OK **0120-872-150**（バナニ イコー）※携帯電話からもご利用になれます。

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1090

商品のお問い合わせは

住宅設備・建材商品ご相談窓口　https://sumai.panasonic.jp/support/

【受付時間】365 日 / 9:00～18:00

携帯OK
個人のお客様 **0120-878-093**　●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6780-5779
法人のお客様 **0120-187-150**　●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6904-7270
※携帯電話からもご利用になれます。
●FAX…0120-872-460

Help desk for foreign residents in Japan　Tokyo（03）3256-5444　Osaka（06）6645-8787
Open: 9:00 – 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。
・ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
・本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検　長年ご使用のレンジフードの点検を！

このような症状はありませんか		ご使用中止	
	• スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり回転しない。 • 運転中に異常音がしたり振動がある。 • 異臭がする。 • その他、異常を感じる。		このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店または工事店に点検・修理を依頼してください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

© Panasonic Corporation 2020-2022

90DS64202AMD-P0220-1092